

# 平成32年4月開設を目指して 新たなゴミ埋立地を 湯来町に整備しています

市は、ゴミの埋立地(最終処分場)として、平成32年4月の開設を目指し、佐伯区湯来町に恵下埋立地(仮称)を整備しています。  
 恵下埋立地建設事務所(☎923-6011、☎923-6022)

## 市民生活に必要不可欠 ゴミの埋立地(最終処分場)

ゴミの埋立地は、ゴミの減量やリサイクルをしても生じるゴミを最終的に埋め立て処理する、市民生活になくてはならない施設です。

埋め立てるゴミは、主に、焼却工場で可燃ゴミを焼却した後に残る焼却灰や、家庭・事業所から出される不燃ゴミなどです。

現在稼働している市の埋立地である玖谷埋立地(安佐北区安佐町)は、平成32年3月末に埋め立てを終了するため、これに続く新たな埋立地として、現在、佐伯区湯来町恵下地区に恵下埋立地を整備しています。

## 国の基準を上回るさまざまな 安全対策を実施します

恵下埋立地は、廃棄物・地質・土木工学などの学識経験者の意見や地元住民の皆さんの要望を参考にしながら、国の基準を上回るさまざまな安全対策を実施します。

主な安全対策については、下記のQ&Aをご覧ください。

整備内容の詳細は、市ホームページでもご覧いただけます。  
 市HP⇒暮らし・手続き⇒ごみ・環境⇒ごみの収集・処理⇒ごみ処理施設⇒恵下埋立地(仮称)⇒恵下埋立地(仮称)の整備について

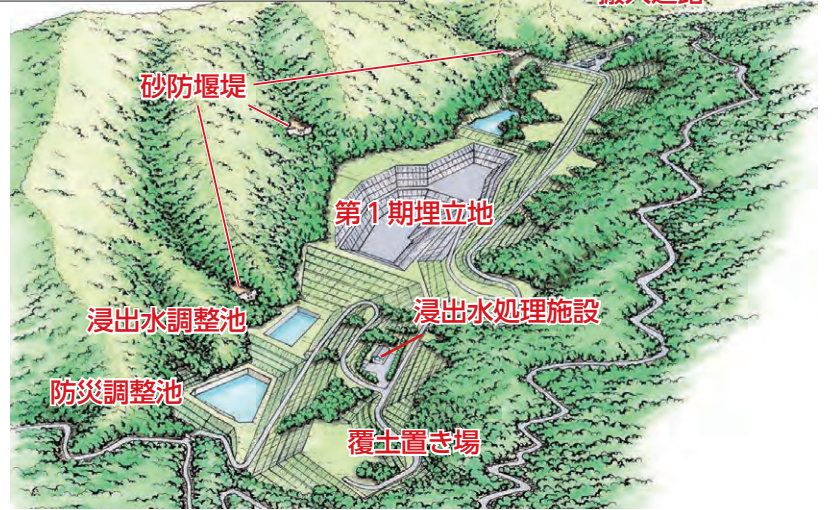
位置図



恵下埋立地の概要  
(一般廃棄物最終処分場)

開発区域	約31ha
廃棄物容量	約160万m <sup>3</sup> (第1期工事で約35万m <sup>3</sup> を整備)
埋立期間	平成32年4月から約30年間
受け入れる廃棄物の種類(主なもの)	●家庭系不燃ゴミ(陶磁器製品、耐熱ガラス製品、植木鉢、ビニールシート、ヘルメット、傘、保冷剤等) ●事業系不燃ゴミ(廃プラスチック類を除いたゴミ) ●市のゴミ焼却工場が発生する焼却灰など

恵下埋立地(第1期工事)のイメージ



## 安全対策についての Q&A

### 埋立区域へ降った雨水への対策

**Q** ゴミに触れた雨水(浸出水)はどのように処理されるの?

**A** ゴミに触れた雨水(浸出水)は、浸出水調整池に集め、埋立地内の処理施設で、河川や海などの公共水域に流せる水質になるまで浄化した後、周辺河川などの自然環境に影響を与えないよう、専用の放流管と公共下水道を通じて下水処理場に送水します(周辺河川には流しません)。

**Q** 浸出水が周りに漏れ出さないの?

**A** 国の基準で定められている二重の遮水シートをはじめ、図のようなさまざまな安全対策を実施します。

### 安全対策1 (浸出水集排水管)

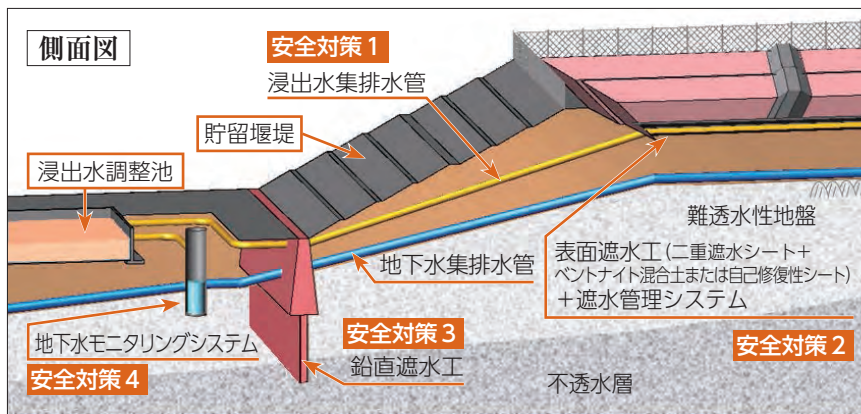
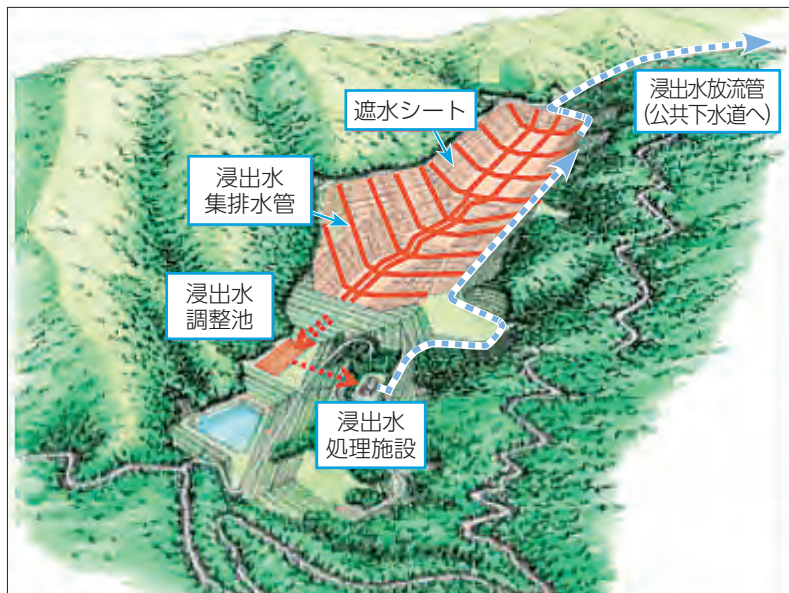
遮水シートの上に葉脈状に敷いた浸出水集排水管で、浸出水を速やかに集め、浸出水調整池へ送水します。

### 安全対策2 (表面遮水工+遮水管理システム)

二重の遮水シートの下に、水を通しにくいベントナイト混合土や、破損してもその穴を防ぐ自己修復性シートを設置します。万一、遮水シートが破損した場合は、破損箇所を電氣的な遮水管理システムにより特定し、速やかに補修します。

### 安全対策3 (鉛直遮水工)

埋立区域下流の岩盤に幅5m以上の不透水層(鉛直遮水工)を整備し、万一、浸出水が地下水に漏れ出しても下流域への流出を防ぎます。



### 安全対策4 (地下水モニタリングシステム)

ゴミに触れていない地下水は、遮水シートの下に敷いた地下水集排水管で集め、防災調整池を経由して下流河川に放流します。地下水の水質はモニタリング設備で常時監視し、万一、浸出水の漏れ出しなどの異常を感知した場合は、放流先を浸出水調整池に切り替え、浸出水と一緒に処理します(下流河川には流しません)。

**Q** 浸出水は安全に流されるの?

**A** 浸出水を安全に放流するため、さまざまな対策を実施します。

### ●放流管の安全対策

腐食しにくく、柔軟性があり、耐震性に優れたポリエチレン管を使用します。管同士を電気で溶かして継ぎ目なくつなぐため、漏水を防ぐことができます。

### ●停電した場合の対策

自家発電設備により、送水ポンプを稼働し、安全な放流を継続します。

恵下埋立地の埋立区域へ降った雨水の流れと安全対策

### 災害防止対策

**Q** 自然災害に備えた対策も行っているの?

**A** 平成26年8月に市で発生した大規模土砂災害などの自然災害に備えた対策も行っています。

### ●耐震対策

ゴミを埋め立てる区域の重要な構造物である貯留堰堤は、恵下地区周辺の地震被害想定である震度6弱を上回る震度6強クラスの地震にも耐える強度で整備します。

### ●土砂災害防止対策

埋立地周辺にある溪流のうち、急傾斜の3溪流には砂防堰堤(上イメージ図)、その他の溪流には土砂の流出を抑制させる谷止工などを整備し、溪流以外の急斜面には、落石防護ネットを整備します。

また、緩やかな斜面についても土砂災害などの危険性について調査し、必要な防災施設を整備します。

### 跡地は市民が利用する施設に

埋め立てが終了した跡地には、市民が利用する施設を整備します。瀬野川公園(安芸区・写真)や竜王公園(西区)は、埋立地の跡地を公園として整備しています。

